

新聞記事紹介

世界の舞台で腹話術

上田市真田町長の社会保険労務士滝沢博文さんが、7月に米国ケンタッキー州で開かれた腹話術の最大規模の世界大会「ベント・ヘブン・コンベンション」に初めて出演し、このほど帰国した。滝沢さんは、同市の腹話術サークル「笑

いのワ」代表。当初は見学だけのつもりだったが、会場の盛り上がりにつられ、飛び入り参加でステージへ。観客から「グッジョブ（よかったよ）」と声を掛けられたことが何よりうれしかったと振り返っている。

上田の滝沢さん 米の大会飛び入り

米国で開かれた腹話術世界大会のステージで上演する滝沢さん



大会は同州フォートミッチェルで開かれ、米、カナダ、ドイツ、スウェーデンなどから、



いっこく堂さんにプレゼントした人形「ファッション」さんと。

2009.3.1

英語で挑戦 観客「グッジョブ」

プロ、アマチュアを問わず約四百人が参加。日本からは三人だった。滝沢さんのステージ発表は現地時間の七月十八日、「日常会話ができる」程度の英語を使う短編を、一日で準備した。「あなただけアメリカ旅行を楽しんでなによ」とぼやく「奥さん」役の人形を、「まあ歌でも歌おう」となだめて「アメージングレース」を歌わせるなどの内容。他の出演者を見て、歌を交えてもいいことを知ったのも、急ぎよ参加するきっかけだった。

約二百人を前に、初めての英語の腹話術で緊張し、ステージ上のは「ほとんど覚えていない」。一方、一回のステージで四十五体の人形を使いこなし、観客を「とにかく笑わせる」米国のプロの技術に刺激を受けた。滝沢さんは十七年前、趣味を探して腹話術の講座に参加し、「人形を通して普段は言えないことも言えてしまう」ことに魅せられた。昨年、勤めていた会社を辞めて社会保険労務士として独立した。五十代の滝沢さんは「腹話術師にはミステリアスな面も必要」と年齢は明かさず、サークルの公演では年齢を当ててもらったタイズで観客を楽しませる。「今回の経験を生かし、さらに腕を上げていきたい」と意欲を高めている。

インターネット検索



腹話術 滝沢

検索 クリック



【プロフィール】 ヒロ・タッキー (滝沢 博文)

長野県上田市在住。社会保険労務士・腹話術師。腹話術サークル笑いのワ長野&上田代表。NPO 法人日本腹話術師協会理事。腹話術歴 18 年。

2004 年東京「世界腹話術の祭典」オープンマイク出演。2005 年アメリカ・ベントヘブンコンベンション(米国腹話術世界大会)参加、2008 年には同ステージのオープンマイクに英語出演、その後ロサンゼルス、ハワイ、シンガポールの海外でも公演、披露。敬老会、子供会等の各種イベントで、相棒のコタッキーや動物たちと楽しく愉快的な芸を披露し、好評を博す。